

# 24場出場予定選手&展望



<b>戸田</b>	<b>7/5 ~ 8</b>
<b>第9回週刊大衆杯</b>	
◎	鈴木 博 石丸 海渡
○	尾上 雅也 西橋 奈未
△	桐本 康臣 三浦 永理
×	永井 源 中田 元泰
注	青木 蓮 吉永 則雄

**地元ベテランの鈴木博が巧みにまとめる**

4月の前回当地戦で優勝している鈴木博。近況はエンジン出しも安定しているだけに、連続Vに期待。攻めの瞬発力がある石丸海渡もV候補のひとり。地元成長株の尾上雅也もチャンスはありそう。旋回力で負けていないのは西橋奈未。三浦永理もパワーでリードしてきそう。昨年当地で2Vの青木蓮にも注目。

<b>桐生</b>	<b>6/17 ~ 22</b>
<b>第22回新東通信杯 BTS福島開場14周年記念</b>	
◎	大澤 風葵 松田大志郎
○	松田 祐季 木下 翔太
△	上田 龍星 江夏 満
×	松本 純平 吉川 喜継
注	土屋 千明 今井 裕梨

**大澤風葵が地元連続Vへ強敵は記念級の両松田**

大澤風葵が前回5月、桐生3度目の優出で念願の地元初Vを飾った。これで肩の荷が下り、連覇に向けて当節は伸び伸びプレーが期待できそう。強敵は松田大志郎と松田祐季。それぞれ2月の各地区選で優出しており、松田大は当地3連続優出中だ。攻撃的な土屋千明、今井裕梨は混合戦で台風の目となるか。

<b>江戸川</b>	<b>6/14 ~ 17</b>
<b>にっぽん未来プロジェクト競走 in江戸川</b>	
◎	石渡 鉄兵 坪井 康晴
○	前沢 文史 柳生 泰二
△	寺本 重宣 森定 晃史
×	松崎祐太郎 池永 太
注	加藤 政彦 仲道 大輔

**進化を続ける江戸川鉄兵が登場だ！**

石渡鉄兵は昨年の蒲郡周年に続いて、今年は福岡周年で優勝。江戸川最強のみでなく、五十路に達して遠征場での強さも増す近年。当然当節も不動の主役。全国相場的には石渡以上なのが坪井康晴。今年は大見出しに欠く状態だが、江戸川水面も苦にしない名手だけに石渡の最大のライバルとなるはずだ。

<b>桐生</b>	<b>6/26 ~ 30</b>
<b>第58回サンケイスポーツ杯</b>	
◎	岡崎 恭裕 北山 康介
○	柴田 光 吉永 則雄
△	永井 源 青木 玄太
×	長谷川晴哉 鶴本 崇文
注	佐々木翔斗 宮田 龍馬

**当地久々も岡崎恭裕が軸長谷川晴哉は大駆け十分**

岡崎恭裕はSG1V、GI4Vで実績&実力上位。今年4月の平和島で優勝、5月の同場GIIでも予選4位と活躍しているが、当地は約9年ぶりとなる。北山康介と柴田光は、ともに来期適用勝率がキャリアハイの7点台半ばと充実。桐生でペラが当たっている長谷川晴哉は、快速状態で主力勢に割って入る。

<b>江戸川</b>	<b>6/21 ~ 26</b>
<b>第50回スポーツニッポン杯</b>	
◎	平尾 崇典 若林 将
○	仲谷 颯仁 下條雄太郎
△	黒井 達矢 柳沢 一
×	妹尾 忠幸 北村 征嗣
注	黒崎 竜也 向後 龍一

**江戸川最強の一角…平尾崇典が主役！**

主役候補は当地を地元水面とも呼ぶ相性ナンバーワンの平尾崇典。23年は3DAYSで優勝。昨年は一般戦ながら6戦完全Vの快挙。水面を熟知する強みをフルに発揮する。地元勢では若林将が大将格。潮流も読み切る鋭い仕掛け戦で東京勢をけん引。総合力では仲谷颯仁、下條雄太郎、柳沢一も好勝負。

<b>桐生</b>	<b>7/4 ~ 9</b>
<b>上州きりゅう杯 やんちきどっこい賞競走</b>	
◎	井上 忠政 小池 修平
○	篠崎 仁志 大池 佑来
△	中嶋健一郎 後藤 翔之
×	尾嶋 一広 長谷川晴哉
注	高嶋 四季 倉持 莉々

**井上忠政と小池修平大阪コンビがVに照準**

井上忠政、小池修平の大阪コンビが中心となる。前者は圧倒的な攻撃力、後者は剛柔自在な取り口で魅了し、ともにVのみに照準を合わせての参戦だ。地力がある篠崎仁志、近況好リズムの大池佑来、当地連続優出中の中嶋健一郎もシリーズを盛り上げる。女子の高嶋四季も全速攻撃で見せ場を作りそう。

<b>江戸川</b>	<b>7/5 ~ 10</b>
<b>稲城 フルーツランド杯 第49回日刊スポーツ杯</b>	
◎	渡邊 雄朗 麻生 慎介
○	永田 秀二 大澤 普司
△	岩瀬 裕亮 田村 隆信
×	宇佐見 淳 重木 輝彦
注	中村 日向 末永 祐輝

**パワー戦！真骨頂発揮するか渡邊雄朗**

5月1節目から稼働している当地新モーターは、従来機よりもパワーがあるという選手の声が多い。当地独特の調整に長ける渡邊雄朗、永田秀二の両名は機出しという面でもアドバンテージ。遠征勢では水面経験値重視で麻生慎介、大澤普司が一步リード。全国の実力相場は岩瀬裕亮、田村隆信。

<b>戸田</b>	<b>6/13 ~ 16</b>
<b>アサヒスーパードライカップ</b>	
◎	黒井 達矢 大池 佑来
○	小林 泰 平田健之佑
△	松尾 拓 三浦 敬太
×	中村 有裕 山田 晃大
注	平石 和男 野長瀬正孝

**地元久々Vの期待がかかる黒井達矢**

主役候補は黒井達矢。当地は8Vと結果を残しているが、22年5月以来優勝からは遠ざかっている。久々の地元Vに期待したい。安定感がある大池佑来に、決定的力のある小林泰、三浦敬太ら東京勢がV争いに加わる。平田健之佑もそつなくまとめる。前期2Vと復調しているベテラン平石和男にも注目。

# 24場出場予定選手&展望

## レース場担当者

桐生：スポーツ報知・佐々木伸  
 戸田：ガイド・長谷川  
 江戸川：ガイド・野添  
 平和島：ガイド・長船  
 多摩川：ガイド・吉田  
 浜名湖：MOCHI  
 蒲郡：スポーツ報知・太田和良

<b>浜名湖</b>	<b>6/13 ~ 18</b>
オールレディース 静岡クラウンメロン杯	
◎	宇野 弥生 鎌倉 涼
○	大瀧明日香 今井 美亜
△	松尾 夏海 関野 文
×	土屋実沙希 倉持 莉々
注	落合 直子 豊田 結

**決め手の強さに勝る宇野弥生がシリーズをリード**

長嶋万記に三浦永理、さらに川井萌と静岡トップ3が不参加。混戦必至だが、優勝候補の筆頭に宇野弥生を挙げる。攻めっぷりの良さはここに入ると上位。持ち味を発揮して浜名湖初Vを目指す。僅差で続くのは鎌倉涼に大瀧明日香。今井美亜は昨年この大会でファイナル1枠も2着惜敗。リベンジに燃える。

<b>平和島</b>	<b>6/17 ~ 20</b>
第44回日本モーターボート選手会会長賞	
◎	毒島 誠 茅原 悠紀
○	馬場 貴也 関 浩哉
△	松井 繁 瓜生 正義
×	土屋 智則 寺田 祥
注	長田 頼宗 深谷 知博

**豪華メンバー！ 毒島誠、茅原悠紀が中心に**

桐生周年からの転戦組が多く一般戦では異例と言える豪華メンバー。3月の当地周年でV戦ワンツーだった毒島誠と茅原悠紀が中心だが、馬場貴也や当地相性がいい関浩哉もV候補。他にも松井繁、瓜生正義の超高実績組や当地SG王者でもある土屋智則が参戦。地元勢では長田頼宗にV争いの期待がかかる。

<b>浜名湖</b>	<b>6/28 ~ 7/3</b>
中日スポーツシルバーカップ	
◎	谷野 鍊志 興津 藍
○	杉山 正樹 池田 雄一
△	平田 忠則 吉村 誠
×	石橋 道友 益田 啓司
注	金子 和之 今泉 友吾

**谷野鍊志がコース不問の走りで完全復活を果たす**

谷野鍊志は前期に2本のフライングを切った影響で、25年後期はB級降格の憂き目。それでも勝手知ったる地元水面だけに、主役の座は譲れない。興津藍は現行モーターの調整を熟知しており、すっかり復調ムード。当地連続Vへ向け好走を約束する。小気味いい走りを身上とする杉山正樹も侮れない存在だ。

<b>平和島</b>	<b>6/23 ~ 28</b>
DMM. com杯	
◎	小坂 尚哉 坂元 浩仁
○	枝尾 賢 永田 秀二
△	若林 義人 田中 辰彦
×	寺本 重宣 大瀧明日香
注	長野壮志郎 清楚 翔子

**安定感で小坂尚哉と坂元浩仁、枝尾賢が上位**

抜きん出た存在が見当たらず混戦気味。穴党の出番が多くなりそうだ。一般戦での安定株という意味では小坂尚哉、坂元浩仁が一歩リード。枝尾賢は復帰からまだ日が浅いが、本来の実力的には上位。永田秀二も伸び寄りの調整がハマると当地は強い。力をつけている若手若林義人、近況好調の田中辰彦も。

<b>蒲郡</b>	<b>6/11 ~ 16</b>
中京スポーツ杯争奪蒲郡ボートキング決定戦	
◎	赤岩 善生 柳沢 一
○	下出 卓矢 小野 達哉
△	杉山 貴博 末永 祐輝
×	河野 大 石田 章央
注	清水 攻二 松竹 大輔

**赤岩善生・柳沢一ら地元勢がV戦線をリード！**

赤岩善生にとって今年最大のミッションはクラシックの権利を取ること。5月の多摩川で今年初Vを飾り反撃を開始。こども優勝だけに照準を合わせている。前期の柳沢一はA2級陥落のピンチだったが、見事な集中力で回避。新时期からは軌道に乗せている。遠征勢では下出卓矢、小野達哉の攻撃力が魅力的だ。

<b>平和島</b>	<b>7/2 ~ 7</b>
第38回麒麟カップ	
◎	上平 真二 高野 哲史
○	藤岡 俊介 三角 哲男
△	渡邊雄一郎 杉山 貴博
×	村上 遼 吉田凌太郎
注	榎 幸司 森定 晃史

**当地巧者の上平真二が中心、兵庫勢もV有力候補**

上位陣同士の実力は拮抗しており、V争いは激戦が予想される。近況当地へのあっせんは決して多くない上平真二だが以前は平和島との相性が良く、差し水面の特性を生かして粘り強い走りを披露する。高野哲史、藤岡俊介の兵庫勢も地力上位の一角。地元は三角哲男と杉山貴博が地の利を生かしV争いへ。

<b>蒲郡</b>	<b>6/20 ~ 23</b>
日刊ゲンダイ杯争奪蒲郡トトまるナイト特別	
◎	重成 一人 秦 英悟
○	里岡 右貴 武田 光史
△	梶野 学志 小池 哲也
×	池田 雄祐 岩永 雅人
注	長嶋 万記 松山 将吾

**重成一人・秦英悟が中心も実力伯仲の短期決戦！**

重成一人はベテランの域に突入しても機敏なコーナークワックは健在だ。現級はA2級に甘んじている秦英悟だが、前期は8優出2Vで勝率も7点台に戻している。里岡右貴、武田光史、梶野学志らもエンジン次第ではシリーズリーダーになれる存在。地元の池田雄祐、岩永雅人、蒲郡5Vの長嶋万記もV圏内だ。

<b>多摩川</b>	<b>6/28 ~ 7/3</b>
第58回報知新聞社賞 静波まつり杯	
◎	中澤 和志 板橋 侑我
○	飯山 泰 庄司樹良々
△	佐々木康幸 吉川 喜継
×	秋元 哲 鈴木 勝博
注	篠田 優也 田路 朋史

**水面との相性は中澤和志 近況好調な板橋侑我**

主力メンバーの実力は接近しているが、水面との相性も加味すれば多摩川ではSG優出歴もある中澤和志の実績が上だ。3月の徳山MB大賞で準優勝の板橋侑我は参戦メンバーで唯一来期勝率が7点超えと近況好調。地元からは庄司樹良々。実績上位は飯山泰の方だが、庄司は最近の多摩川は常に好走する。



津 6/18～22	
日本財団会長杯争奪戦	
◎	久田 敏之 岡村 慶太
○	藤原 碧生 山口 達也
△	重野 哲之 東本 勝利
×	白水 勝也 服部 幸男
注	葛原 大陽 板橋 侑我

**久田敏之へ気鋭 藤原碧生が挑戦**

津は通算7回のV実績、久田敏之はぶっちぎりの水面実績を誇る。10月ダービーは津で開催されるが、出場を決めれば要注目のひとりとなる。安定感のある岡村慶太がV対抗格へ。そして5月下旬の時点で久田よりダービー勝率は上に位置する藤原碧生に特注。新時代の超ホープが真っ向勝負を挑む。

蒲郡 7/1～6	
にっぽん未来プロジェクト競走 in蒲郡	
◎	江口 晃生 深川 真二
○	田中 和也 松田大志郎
△	木下 翔太 上田 龍星
×	飯島 昌弘 畑田 汰一
注	前田 聖文 浜先 真範

**個性強烈なベテランコンビ VS大阪三銃士**

下半期一発目の6日制は、アベレージの高いメンバーが集結。ベテランの江口晃生と深川真二が進入やエンジン出しで魅了する。対抗するのが大阪勢。特に田中和也は5月末時点で9優出3Vと好リズムを継続している。飯島昌弘は4月の当地戦でV。地元からは地力強化中の前田聖文が迎撃態勢を築く。

津 6/25～30	
マンスリー BOATRACE杯	
◎	大上 卓人 小池 修平
○	濱崎 直矢 中村 日向
△	中山 雄太 中嶋健一郎
×	中田 元泰 繁野谷圭介
注	星野 太郎 橋本 年光

**大上卓人、小池修平、濱崎直矢の空中戦**

大上卓人は5月下旬の時点で3回の優勝を飾っている。すべてイン逃げと予選から充実の内容で王道を突っ走っていることは評価できる。一般レベルでは決定力は断然上だ。小池修平も大上と同じく3回の優勝。昨年はFに泣いたが立て直しは順調だ。この2強に割って入るのがパンチある濱崎直矢、中村日向。

常滑 6/18～23	
マスターズリーグ第2戦 マンスリー BOATRACE杯	
◎	辻 栄蔵 杉山 正樹
○	萩原 秀人 中澤 和志
△	須藤 博倫 太田 和美
×	中岡 正彦 仲口 博崇
注	佐々木康幸 益田 啓司

**辻栄蔵が当地連続Vへ意欲 地元は杉山正樹だ**

辻栄蔵は当地戦を含む今年3優勝と絶好調。エンジンも安定して出せるし、何より走りにキレが戻ってきた印象。今回も崩れることはないだろう。地元エースとして参戦する杉山正樹にもV期待。地元での調整は手に入れている。萩原秀人はターンで勝負。速攻力なら中澤和志、太田和美も差はないだろう。

津 7/3～7	
住信SBIネット銀行賞	
◎	西山 貴浩 湯川 浩司
○	原田 幸哉 椎名 豊
△	宮之原輝紀 吉田 裕平
×	松尾 拓 若林 義人
注	岩永 雅人 藤山 雅弘

**西山貴浩中心も V争い大激戦**

上位6選手がおそらくドリームメンバーとなるだろう。SG常連の面々が実力的に抜けすぎている。西山貴浩が中心となるが一瞬たりとも気の抜けない相手だ。以前のパワー戦が復活してきた湯川浩司が節イチへ押し上げてくるだろうが原田幸哉や椎名豊のスタート戦が脅威。地元では松尾拓の浮沈が鍵を握る。

常滑 6/28～7/2	
中日スポーツ杯争奪 第29回ドラゴン大賞	
◎	稲田 浩二 松田 祐季
○	西島 義則 野口 勝弘
△	今井 貴士 梶野 学志
×	天野 友和 笠置 博之
注	濱本 優一 田中 宏樹

**地区選ワン・ツー 稲田浩二・松田祐季がV争い**

近畿地区選ワン・ツーの稲田浩二と松田祐季。速攻派のイメージが稲田、キレある柔軟派が松田。共に決め手は強力で、V争いをリードしよう。大ベテラン西島義則がコース取りから盛り上げる。当地エンジン出しなら野口勝弘・天野友和に分があるか。伸び仕様で一撃の魅力の笠置博之・田中宏樹にも注目。



常滑 7/6～11	
にっぽん未来プロジェクト競走 inとこなめ	
◎	守田 俊介 赤岩 善生
○	秦 英悟 中村 泰平
△	大瀧明日香 青木 玄太
×	松井 洪弥 加藤 政彦
注	山田 理央 平田健之佑

**V候補の守田俊介、赤岩善生が地元の意地を見せる**

今年すでに一般戦4優勝の守田俊介が断然のV候補。持ち前の速攻力と的確なコーナー戦でシリーズをリードする。地元で迎撃つのが赤岩善生。今年は精彩を欠くが、多摩川一般戦Vで復調の兆し。得意のエンジン出しで存在感を示すか。秦英悟も実力的には互角。大瀧明日香・山田理央ら女子勢にも注目。

# 24場出場予定選手&展望

## レース場担当者

常滑：とこなめ情報 土井勇士  
津：中日スポーツ・高橋  
三国：実況アナウンサー・高橋敬亮  
びわこ：サンケイスポーツ・倉橋智宏  
住之江：安達弘持

<b>びわこ</b> 6/20～25	<b>君島秀三が久々の地元Vへ！ 金子拓矢ら強敵揃い</b>	<b>三国</b> 6/18～21	<b>地元の2トップに 強豪揃いの短期決戦！</b>
サンケイスポーツ創刊70周年 記念第47回さざなみ賞		<b>福井ユナイテッド杯</b>	
◎ 君島 秀三 金子 拓矢	君島秀三は地元では最近4節で3優出。今回こそ11年7か月ぶり5回目の当地Vを飾りたいところ。ただ、金子拓矢、河村了、佐藤大介、中村尊、平田健之佑、上條嘉嗣、森野正弘、馬野耀に加え、当地GI V2実績の市川哲也らA1級勢もV候補。現在はA2級の馬袋義則、是澤孝宏も存在感を示したい。	◎ 今垣光太郎 中島 孝平	4日間の短期決戦ではもったいないくらい、豪華なメンバーが揃った。地元の今垣光太郎と中島孝平、この2人が一般戦で揃うだけでも見応え充分だが、SG覇者の原田幸哉、宮地元輝、新田雄史、今年行われた当地での地区選覇者の稲田浩二、当地相性抜群の山崎郡や飯山泰など優勝争いは激戦必至だ。
○ 河村 了 市川 哲也		○ 原田 幸哉 宮地 元輝	
△ 上條 嘉嗣 森野 正弘		△ 山崎 郡 稲田 浩二	
× 佐藤 大介 中村 尊		× 新田 雄史 飯山 泰	
注 平田健之佑 馬野 耀		注 大上 卓人 岩瀬 裕亮	
<b>びわこ</b> 6/29～7/4	<b>前沢文史、作間章、葛原大陽を軸にV争いは混戦</b>	<b>三国</b> 6/24～29	<b>男子と女子が別々で戦う 白熱の6日間シリーズ！</b>
第9回西日本スポーツ杯		<b>三国男女W優勝戦</b>	
◎ 前沢 文史 作間 章	シリーズ3日目の7月1日以降もA1級をキープするのが前沢文史、作間章、葛原大陽の3人で、竹田辰也は7月からA1級に振り返りを果たす。中村有裕、谷川祐一は地元で気合十分の走りを披露。当地GI覇者の山一鉄也をはじめ、山下和彦、大場敏、金田諭、岡田憲行らもV歴のある水面で躍動するか。	◎ 田中信一郎 西橋 奈未	男女それぞれ優勝者を決めるシリーズ。男子の部は田中信一郎に大注目。グランプリを3度制した実力者。ここは他を圧倒する走りや頂点を目指す。女子の部は西橋奈未と今井美亜の地元2トップが優勢。男子の熱く激しいレースと女子の華麗で刺激的なレースを両方楽しめる豪華な6日間は必見だ。
○ 葛原 大陽 竹田 辰也		○ 古結 宏 今井 美亜	
△ 中村 有裕 谷川 祐一		△ 佐藤 悠 實森 美祐	
× 山一 鉄也 山下 和彦		× 桐本 康臣 倉持 莉々	
注 金田 諭 大場 敏		注 黒野 元基 宇野 弥生	
<b>住之江</b> 6/14～19	<b>上條暢嵩と小池修平が 地元の威厳を示す</b>	<b>三国</b> 7/4～9	<b>実績断然の茅原悠紀が 他選手を圧倒！</b>
日本財団会長旗争奪 第39回住之江王冠競走		<b>ディアボート三国 リニューアル10周年記念競走</b>	
◎ 上條 暢嵩 篠崎 元志	上條暢嵩は4月に地元周年を初制覇。さらに地元戦では4連続優出中と強さが際立つ。小池修平は今年早くもV3と好調。地元戦なら強敵相手でも負けられない。篠崎元志はSG2Vと今節の中では実績最上位。攻撃力ある福来剛、島村隆幸も面白い。両者ともに伸び型の調整がハマれば脅威の存在となる。	◎ 茅原 悠紀 齊藤 仁	7月に入って最初の6日間節。注目はなんといっても茅原悠紀。5月30日現在で既に9優出5優勝。その内1つはPGIのBBCトーナメント。当地もGI、SGと連続優出を決めており、ここは他を圧倒する走りに期待だ。他にも巧みなさばきで上位を狙う齊藤仁や、攻めのレース光る前田篤哉に注目。
○ 小池 修平 福来 剛		○ 前田 篤哉 柴田 光	
△ 島村 隆幸 片橋 幸貴		△ 濱崎 直矢 北山 康介	
× 杉山 裕也 深井 利寿		× 川北 浩貴 土山 卓也	
注 大場 恒季 水谷 理人		注 鶴本 崇文 鈴谷 一平	
<b>住之江</b> 6/25～30	<b>鎌倉涼を筆頭に 地元勢が強力な布陣を形成</b>	<b>びわこ</b> 6/11～16	<b>木村仁紀がV候補 A1 級復帰の秦英悟も勢い◎</b>
VS第7戦2025 モーターボートレディスカップ		<b>第13回近江牛カップ</b>	
◎ 鎌倉 涼 川井 萌	鎌倉涼、関野文、高憧四季など地元勢は精鋭が揃うが、やはりその中心は鎌倉だ。総合力は文句なしで地元戦なら主役の座は譲れない。近況リズムなら常滑レディースオールスターで優出した関野。A1級復帰を果たした高憧も覇権を争う。遠征勢は成長著しい川井萌、実力確かな櫻本あゆみ、竹井奈美に注目。	◎ 木村 仁紀 秦 英悟	V候補の筆頭には3日目の地元Vを目指す木村仁紀を指名する。現在はA2級の秦英悟だが7月にA1級復帰。3月以降は6連続優出(V2)を飾るなど近況のリズムは文句なしだ。当地V歴のある伊藤将吉、古澤光紀、鈴木博、長尾章平らはもちろん、高野哲史、溝口海義也らA1級勢もV戦線を盛り上げる。
○ 関野 文 高憧 四季		○ 伊藤 将吉 高野 哲史	
△ 櫻本あゆみ 竹井 奈美		△ 古澤 光紀 鈴木 博	
× 塩崎 桐加 大豆生田蒼		× 長尾 章平 溝口海義也	
注 武井莉里佳 井上 遥妃		注 安達 裕樹 桑島 和宏	



<b>尼崎</b>	<b>7/2～6</b>	<b>小坂尚哉が地の利を生かす</b>
JANBARI.TV うちの放浪記杯		小坂尚哉は地元3連続優出中。行き足を重視した仕上がりで調整はお手のもの。序盤から主導権を握りたい。久田敏之はメンバー中で勝率トップ。尼崎でもV経験があり、順調にポイントを稼ぎそうだ。平尾崇典、須藤博倫、北村征嗣は柔軟なハンドリングが魅力。活発な仕掛けで金子賢志と木村仁紀がV圏内。
◎	小坂 尚哉 金子 賢志	
○	久田 敏之 木村 仁紀	
△	平尾 崇典 三嶋 誠司	
×	須藤 博倫 松尾 充	
注	北村 征嗣 三浦 敬太	

<b>住之江</b>	<b>7/3～8</b>	<b>完全復活した石野貴之がシリーズを牽引する</b>
にっぽん未来プロジェクト競走 in住之江		優勝の大本命は石野貴之だ。怪我から復帰後は本調子ではなかったが、出走回数を重ねるにつれてレース勘が戻り、新期初戦となったオール大阪で復帰後初V。次節では津の企業杯を制して完全復活を印象づけた。今回も地元エースとして貫禄を示してくれるはずだ。対抗は磯部誠、河合佑樹のSG覇者たち。
◎	石野 貴之 磯部 誠	
○	河合 佑樹 前田 将太	
△	塩田 北斗 近江 翔吾	
×	山崎 哲司 西岡 顕心	
注	柳内 敬太 中野 仁照	

<b>鳴門</b>	<b>6/15～20</b>	<b>西山貴浩が主役の6日間戦</b>
第10回 サッポロビールカップ競走		実力者のそろう6日間シリーズだが、西山貴浩の存在感が光る。地力と人気を兼ね備えたスターレーサーが戦線の主役を務める。香川支部だけではなく四国の代表選手に躍進している片岡雅裕がトップの座は譲らない構えで臨む。地元は山田祐也がスピード攻撃を連発。ベテラン丸尾義孝にも警戒。
◎	西山 貴浩 片岡 雅裕	
○	上野真之介 山田 祐也	
△	柴田 光 重木 輝彦	
×	丸尾 義孝 中山 雄太	
注	北中 元樹 宇佐見 淳	

<b>尼崎</b>	<b>6/11～15</b>	<b>混戦メンバーも松村敏が主導権を握る</b>
BTS京丹後開設10周年記念競走		松村敏は25年前期、後期ともにメンバー中で勝率トップ。最大の武器であるスタート力を生かす。村上遼は機力さえしっかりしていれば成績をまともな力がある。序盤から突き進みたい。中嶋健一郎、森永隆は積極策に期待を込める。伸び盛りの横田貴満が波乱候補。地元からは照屋厚仁が迎え撃つ。
◎	松村 敏 原田 篤志	
○	村上 遼 岡 祐臣	
△	中嶋健一郎 牧 宏次	
×	森永 隆 黒柳 浩孝	
注	横田 貴満 照屋 厚仁	

<b>鳴門</b>	<b>6/26～29</b>	<b>地元の田村隆信が底力をみせる</b>
第33回日本モーターボート選手会会長杯競走		男女混合4日間の短期シリーズは混戦模様。中でも田村隆信の走りに期待したい。まだまだ地元の大看板を外すわけにはいかない。リズムに乗れば短期戦を一気に突っ走る。篠崎仁志、藤原啓史朗がスピード攻撃で迫る。重野哲之は自由自在の攻めが魅力。女子は三浦永理が強敵男子相手に好走。
◎	田村 隆信 篠崎 仁志	
○	重野 哲之 藤原啓史朗	
△	三浦 永理 堀本 和也	
×	栗城 匠 西野 雄貴	
注	今村 暢孝 富樫 麗加	

<b>尼崎</b>	<b>6/17～22</b>	<b>笠原亮、濱野谷憲吾に挑む地元勢</b>
スポーツニッポン杯争奪伊丹市施行72周年記念競走		実力上位の笠原亮が主役を張るが、華麗なるさばきで魅了する濱野谷憲吾が肉薄する。迎え撃つ尾嶋一広、藤岡俊介、吉田俊彦のV実績を残している地元トリオ。入海馨と白神優の岡山コンビが虎視眈々とVをもくろむ。栗城匠は堅実なレース運びが見もの。吉永則雄は冷静沈着な走りに期待を込めたい。
◎	笠原 亮 入海 馨	
○	濱野谷憲吾 白神 優	
△	尾嶋 一広 栗城 匠	
×	藤岡 俊介 北野 輝季	
注	吉田 俊彦 吉永 則雄	

<b>丸亀</b>	<b>6/18～21</b>	<b>石丸海渡、竹田和哉の地元コンビがV狙う</b>
デイリースポーツカップ		4日間の短期決戦は石丸海渡、竹田和哉の地元112期コンビがシリーズを引っ張って行く。両者とも狙うはV、最低でも優出は外せないところだ。渡辺浩司、秋元哲が的確さばきで進出。濱崎直矢は自慢の速攻力を生かすレース。石橋道友が巧腕を發揮するか。安河内将、古賀繁輝の佐賀両者も侮れない。
◎	石丸 海渡 竹田 和哉	
○	渡辺 浩司 秋元 哲	
△	濱崎 直矢 石橋 道友	
×	安河内 将 古賀 繁輝	
注	山本 隆幸 四宮 与寛	

<b>尼崎</b>	<b>6/25～30</b>	<b>守田俊介がシリーズを引っ張る</b>
サンケイスポーツ旗争奪第57回尼崎選手権競走		守田俊介は昨年12月の一般戦を圧巻の強さでV。絶品のコーナーワークは見ものだ。岩瀬裕亮は尼崎の印象は薄いものの、ハンドリングは言うまでもない。守田を止める筆頭となる。地元から重木輝彦と加藤翔馬が迎え撃つ。清水敦揮は尼崎でもV経験あり。石丸海渡と竹田和哉の香川コンビが肉薄する。
◎	守田 俊介 石丸 海渡	
○	岩瀬 裕亮 竹田 和哉	
△	重木 輝彦 川北 浩貴	
×	加藤 翔馬 角谷 健吾	
注	清水 敦揮 加藤 政彦	



# 24場出場予定選手&展望

## レース場担当者

崎：日刊・北條直治  
 門：報知・田代  
 丸：A  
 島：S・O  
 島：B R宮島専属記者 宮崎経督  
 山：日刊・洲上

### 宮島 6/20 ~ 23

#### V大本命は深川真二 地元で迎撃は麻生と下寺

第18回楽天銀行賞

◎	深川 真二	下寺 秀和
○	長尾 章平	木村 仁紀
△	吉川 貴仁	原田才一郎
×	麻生 慎介	近江 翔吾
注	興津 藍	河野 大

4日間の短期決戦。V大本命は初日ドリームに1号艇で選出されている深川真二。出場メンバー中、前期勝率は唯一の7点オーバーと安定感は抜群で好走に期待。これに対するのは最近の地元戦でエンジン出しも安定している麻生慎介と下寺秀和。この両者の地の利を生かした攻めにも注目したい。

### 丸亀 6/24 ~ 29

#### 菊地孝平が断トツのV候補、 中村晃朋が迎え撃つ

第15回琴参バスカップ

◎	菊地 孝平	中村 晃朋
○	山田 祐也	豊田健士郎
△	木谷 賢太	西岡 顕心
×	佐々木完太	横澤 剛治
注	杉山 裕也	村岡 賢人

GⅢ企業杯ということで、上位陣の顔ぶれは充実している。それでも菊地孝平はやはりワンランク上の存在。パワーとスピード、質のいいスタートで圧倒するか。地元を走る限りは中村晃朋も負けられない気持ち。豊田健士郎、山田祐也もV戦線に絡んでくる。木谷賢太、西岡顕心も地元の意地をみせるはずだ。

### 徳山 6/21 ~ 25

#### 当地初V目指す永田啓二と 地元大峯豊の争い

トライアングルカップ

◎	永田 啓二	大峯 豊
○	下出 卓矢	高野 哲史
△	仲道 大輔	森永 淳
×	和田 拓也	金子 賢志
注	橋本 英一	江口 晃生

永田啓二は当地で好走歴は多いものの優勝はまだない。今年も3、4月と好調でV量産態勢に入っており、当地初Vに期待。大峯豊も地元タイトルVへ気合十分で迎え撃つ。下出卓矢、仲道大輔は一撃候補としての魅力たっぷり水面を沸かせそう。注目はベテラン江口晃生でコース争いから盛り上げる。

### 児島 6/14 ~ 19

#### 池田浩二を筆頭に 豪華メンバーが集結

第24回シモデンカップ

◎	池田 浩二	菊地 孝平
○	吉田 拓郎	桐生 順平
△	山口 剛	石野 貴之
×	丸野 一樹	山田 康二
注	西村 拓也	榎 幸司

池田浩二は23年オーシャンカップ以来の参戦となった今年3月戦で鮮やかなまくり差して優勝するなど、ターン回りを仕上げて豪腕発揮して主役だ。当地好相性の菊地孝平が持ち味の速攻力で相手筆頭。地元の吉田拓郎、児島でSGV実績ある桐生順平も上位争いに参戦。石野貴之や山口剛もV争いに加わる。

### 徳山 6/30 ~ 7/5

#### 強力地元勢を 柳生泰二が引っ張る！

すなっち波乗り王決定戦

◎	柳生 泰二	海野康志郎
○	前田 紗希	中谷 朋子
△	金子 拓矢	長尾 章平
×	下寺 秀和	和田 操拓
注	香川 陽太	登 みひ果

柳生泰二は今年もここまで2Vと調子はいい。ただ、徳山では22年4月を最後にVがなく地元戦で久々の大暴れに期待。海野康志郎は22年10月以来の当地参戦。地元復帰戦でいいところを見せたいはず。女性陣は前田紗希、中谷朋子が2強。ともに水面相性はいい。若手注目の香川陽太が一発候補。

### 児島 6/23 ~ 28

#### 地元森定晃史が 遠征勢を迎え撃つ

創刊70周年記念  
サンケイスポーツ杯

◎	森定 晃史	井上 忠政
○	三嵩 誠司	西野 翔太
△	森永 隆	渡邊 雄朗
×	出畑 孝典	三浦 敬太
注	野中 一平	中村 魁生

森定晃史が地元の意地を見せて主役を務める。今年桐生、三国で優勝と勢いに乗っている。近況はペラ調整に正解を出して仕上がり早い。井上忠政は昨年の児島ルーキーシリーズの優勝をきっかけにV8でSGクラシックに出場。V有力だ。三嵩誠司は1月に走って優出するなど、的確捌きは健在。



### 宮島 6/12 ~ 15

#### 主役は徳増秀樹 伸び仕立ての井内将太郎も注意

第4回エフ・ディミニッシュ  
バトルシリーズ

◎	徳増 秀樹	市川 哲也
○	田中信一郎	山本 修一
△	山田 哲也	吉田凌太郎
×	角谷 健吾	丹下 将
注	井内将太郎	鈴谷 一平

4日間の短期シリーズ「エフ・ディミニッシュバトルシリーズ」。シリーズの軸となるのは徳増秀樹。ただ地元の市川哲也に、田中信一郎とグランプリレーサーも控えておりハイレベルなV争いとなりそう。一方で注目は地元の井内将太郎。最近伸び寄りの足に仕立てて一発を狙ってくるので要注意だ。



<b>若松</b>	<b>6/19 ~ 24</b>	
<b>オールレディースひめちゃん杯</b>		
◎	小野 生奈	川野 芽唯
○	寺田 千恵	細川 裕子
△	中谷 朋子	山川美由紀
×	藤原 菜希	深川麻奈美
注	中川 りな	小池 礼乃

**小野生奈と川野芽唯の地元両者がV争いの中心**

地元福岡勢が充実の布陣。小野生奈と川野芽唯がシリーズを引っ張り深川麻奈美、小池礼乃、中川りな、戸敷晃美らが脇を固める。寺田千恵も当地は元純地元水面で7回の優勝実績を誇る。山川美由紀は当地でレディースチャンピオン制覇があるほか、細川裕子、藤原菜希、中谷朋子らも当地は優勝実績がある。

<b>下関</b>	<b>6/13 ~ 16</b>	
<b>MNBR 3rd 日本モーターボート選手会会長杯</b>		
◎	白井 英治	永田 啓二
○	井上 一輝	北村 征嗣
△	村岡 賢人	今村 暢孝
×	森野 正弘	麻生 慎介
注	田中 辰彦	竹井 奈美

**地元エースの白井英治が大本命**

地元エース白井英治が断然の主役。1月蒲郡で今年初Vを挙げると、続く常滑BBCTでは準Vに輝いた。徳山GW節でも圧巻の走りでV。当地での優勝は23年8月以来、遠ざかっており、気合倍増での参戦だ。永田啓二は3月に福岡、尼崎で連続V、4月には唐津でVを達成。こども優勝を狙う。

<b>若松</b>	<b>6/28 ~ 7/3</b>	
<b>ルーキーS10戦植木通彦C25回スカパー！JLC杯</b>		
◎	原田才一郎	藤原 碧生
○	飛田 江己	砂長 知輝
△	高橋 竜矢	中島 秀治
×	佐藤 航	竹下 大樹
注	水谷 理人	西丸侑太郎

**昨年のリベンジに燃える地元の原田才一郎**

昨年は優勝戦1号艇を手にしながらか藤原碧生の差しに屈した原田才一郎のリベンジ戦。GW戦でも超抜パワーを生かせず優勝を逃しており、届きそうで届かない地元初優勝へ燃える。連覇がかかる藤原碧生、成長度が著しい飛田江己が強敵。若手の躍進が際立つ香川支部の水谷理人、西丸侑太郎の走りも注目。

<b>下関</b>	<b>6/23 ~ 27</b>	
<b>九州スポーツ杯</b>		
◎	徳増 秀樹	原田 篤志
○	澤田 尚也	平山 智加
△	末永 由楽	有賀 達也
×	深井 利寿	村田 修次
注	天野 晶夫	末永 祐輝

**復調した徳増秀樹がV候補筆頭**

昨年は1Vに終わり不調だった徳増秀樹だが、今年は復調傾向。1月の平和島で優勝すると、2月宮島ではオール2連対でV、3月戸田でも優勝とコンスタントな活躍を見せている。地元の原田篤志は19年1月以来となる当地Vへ燃える。スピード光る澤田尚也に女子勢では平山智加もV争いに加わる。

<b>芦屋</b>	<b>7/1 ~ 6</b>	
<b>モーニングレース誕生祭</b>		
◎	江夏 満	伊藤 将吉
○	市橋 卓士	君島 秀三
△	黒井 達矢	小野 達哉
×	原田 篤志	河野 大
注	武重 雄介	吉川 昭男

**江夏満が地元水面疾走！伊藤将吉ら攻撃派に注目**

GW戦は準優勝敗退も初日ドリームを制すなど活躍した江夏満が、地の利を生かして颯爽と駆け回る。コンスタントに優出する伊藤将吉や市橋卓士、君島秀三、黒井達矢、河野大ら攻撃力の高い選手が上位を形成する。さばき巧みな小野達哉、新期A2級降格も当地は好走多い吉川昭男ら技巧派の存在感も光る。

<b>下関</b>	<b>7/1 ~ 6</b>	
<b>第15回ボートレースレディースVSルーキーズバトル</b>		
◎	田口 節子	常住 蓮
○	清水 愛海	島川 海輝
△	細川 裕子	濱野 斗馬
×	清水 沙樹	高井 雄基
注	今井 裕梨	藤原 仙二

**紅組は田口節子 白組は常住蓮が引っ張る**

恒例となった団体戦。紅組の主役は女子GI4Vを誇る田口節子だ。今年も安定感抜群の動きを披露し女子勢をけん引する。白組は常住蓮がリーダー。5月の唐津では準パーフェクトVを達成し、優勝回数を重ねて勢いに乗る。地元勢ではオールスターでSG初出場を果たした清水愛海と島川海輝の活躍に期待。

<b>福岡</b>	<b>6/19 ~ 24</b>	
<b>東京・大阪・福岡三都市対抗戦九州スポーツ杯</b>		
◎	平田 忠則	中野 次郎
○	松村 敏	今井 貴士
△	田中 和也	永井 彪也
×	藤山 翔大	権藤 俊光
注	奈須 啓太	福島 勇樹

**福岡通算10Vの平田忠則が6年ぶり当地V狙う**

恒例となった東京、大阪、福岡の3支部対抗戦。当地通算10Vの実績を誇る平田忠則が地元大将格。6年ぶりの当地制覇を狙う。当地V歴がない中野次郎だが、昨年11月の前回戦も優出と水面を苦しめるイメージはない。決め手なら松村敏。今年はまだ優勝がないだけに、そろそろリズムを上げていきたい。

<b>若松</b>	<b>6/13 ~ 17</b>	
<b>唐十杯</b>		
◎	枝尾 賢	小坂 尚哉
○	清水 敦揮	三角 哲男
△	水摩 敦	鶴本 崇文
×	市橋 卓士	田中 豪
注	竹田 辰也	金田 諭

**復帰戦で優出した枝尾賢がV争いの中心**

当地での復帰戦でいきなり優出の活躍を見せた地元の枝尾賢がシリーズを引っ張る。近況好調で当地では完全V歴もある小坂尚哉、当地では抽選運が抜群によく常にV争いに絡む清水敦揮、今年3Vと勝負強さを発揮中のベテラン三角哲男でシリーズ4強。今年5回目の登場となる水摩敦もV争いへ。



# 24場出場予定選手&展望

## レース場担当者

下 関：西日本スポーツ・岡部  
 若 松：スポーツ報知・井上誠之  
 声 屋：スポーツ報知・井上泰宏  
 福 岡：スポニチ・鳥飼  
 唐 津：報知・高木  
 大 村：報知・長谷

<b>大村</b>	<b>6/22 ~ 25</b>	<b>中辻崇人と菅章哉の伸び競演が楽しみなシリーズ</b>
西日本スポーツ杯		
◎	中辻 崇人 菅 章哉	新機と新艇が登場。びわこに続いて地球環境に配慮した「エタノール30%配合ガソリン (E30ガソリン)」が使用される。今年も一般戦の鬼と化している中辻崇人がV候補筆頭。菅章哉も伸びのスペシャリストとして、いざ勝負。上平真二と前田聖文は当地4連続、田頭実は当地一般戦は7連続優出中だ。
○	上平 真二 山本 寛久	
△	田頭 実 鈴木 博	
×	市橋 卓士 前田 聖文	
注	小野 達哉 金田 諭	

<b>福岡</b>	<b>7/2 ~ 7</b>	<b>快ペースで優勝を積み重ねる永田啓二がV筆頭</b>
山笠特選！県内選手選抜・日本財団会長杯		
◎	永田 啓二 岡村 慶太	40歳未満の福岡支部の男子選手が集結。V筆頭は5月時点で4Vと快ペースで優勝を積み重ねている永田啓二。走り慣れた地元戦で調整面のアドバンテージも大きい。対抗馬の岡村慶太、古澤光紀、里岡右貴らがどこまで迫れるか。若手ではメキメキと力をつけている藤森陸斗、大島隆之介の走りに注目だ。
○	古澤 光紀 里岡 右貴	
△	松崎祐太郎 三川 昂暁	
×	山ノ内雅人 加倉 侑征	
注	稗田 聖也 藤森 陸斗	

<b>大村</b>	<b>6/29 ~ 7/2</b>	<b>勢いに乗ったら手が付けられない上條嘉嗣</b>
BTS長洲開設16周年記念 ~ながす金魚杯~		
◎	上條 嘉嗣 赤坂 俊輔	3月には住之江、徳山、桐生で3場所連続優勝を飾った上條嘉嗣は近況のリズムもいい。地元期待は赤坂俊輔。最近2場所はDR漏れしているが、まだまだ主力級の1人なのは間違いない。当地連続Vを懸けての参戦は松尾昂明と馬場剛の2人。向井美鈴、野田部宏子、小芦るり華ら女子レーサーにも注目。
○	山本 修一 白水 勝也	
△	佐藤 大介 奈須 啓太	
×	和田 拓也 松尾 昂明	
注	馬場 剛 小芦るり華	

<b>唐津</b>	<b>6/14 ~ 17</b>	<b>新人の鐘ヶ江真司と小柳勝希にも注目</b>
第12回見帰りの滝あじさいカップ		
◎	前田 将太 森永 淳	攻めシャープな前田将太VS地元13Vの森永淳の図式。森永は4月一般戦をエース20号機を駆使して圧勝したのは記憶に新しい。エンジン抽選運に恵まれている唐津フレッシュルーキーの田中宏典も注目の一人。136期新人の小柳勝希と鐘ヶ江真司は好センスが感じられ、レースぶりに注目したい。
○	末永 由栄 桐本 康臣	
△	松尾 昂明 有賀 達也	
×	武富 智亮 小坂 宗司	
注	田中 宏典 宮崎隆太郎	

<b>大村</b>	<b>7/4 ~ 9</b>	<b>飛ぶ鳥を落とす勢いの佐藤隆太郎がミッド初登場</b>
ミッドナイトボートレース in大村 5		
◎	佐藤隆太郎 土屋 智則	SG覇者は5人。その1人が今年仲間入りしたばかりの佐藤隆太郎だ。2年連続グランプリに出場した土屋智則もいる。どちらもグラチャンからの転戦となる。そして、永井彪也や、オーシャンカップでのSGデビューを控えている井上一輝も注目レーサー。この4人はミッドナイトが今回初めてとなる。
○	永井 彪也 井上 一輝	
△	服部 幸男 前田 滉	
×	竹田 和哉 重野 哲之	
注	枝尾 賢 山田 祐也	

<b>唐津</b>	<b>6/21 ~ 25</b>	<b>田口節子、高田ひかる登場の男女混合戦</b>
トータリゼータ エンジニアリング杯		
◎	海野康志郎 伊藤 将吉	重量級ながら特別戦で活躍する海野康志郎は優勝4回を誇る「唐津巧者」。1着率が40%に迫る伊藤将吉とともにV争いをリードする。決め手がある井上一輝も優勝候補。女子は実力ある田口節子と高田ひかるが存在感を示し、安井瑞紀は当地久しぶりではあるが一撃の魅力あり。地元は藤田浩人に期待。
○	大池 佑来 古澤 光紀	
△	井上 一輝 田口 節子	
×	村上 遼 高田ひかる	
注	藤田 浩人 安井 瑞紀	



<b>唐津</b>	<b>6/29 ~ 7/3</b>	<b>当地70周年チャンプ濱野谷憲吾が好さばき発揮</b>
日本モーターボート選手会会長杯		
◎	濱野谷憲吾 安河内 将	通算100Vを当地70周年で達成した濱野谷憲吾が金看板。7月からのA1級復帰を前に卓越したハンドルワークでV争いを引っ張る。地元は安河内将が躍動必至とみるが、チルト3度を用意する杉山勝匡、ピット離れ仕様ある堤啓輔も見せ場は作る。泥谷一毅は好不調の波はあるが、唐津は好歴残す。
○	渡辺 浩司 池永 太	
△	林 美憲 下出 卓矢	
×	泥谷 一毅 牧山 敦也	
注	杉山 勝匡 堤 啓輔	